

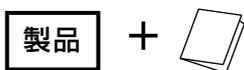
取扱説明書

SHIFT LAMP PRO

品番：SLP

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

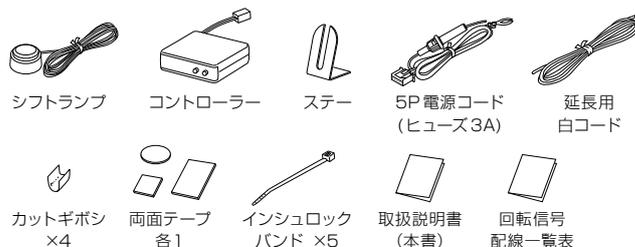
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1	基本操作方法	4
特長	1	ピーク値の表示とリセット	4
各部の名称	1	故障かな？と思ったら	4
基本動作	2		
サイズ	2		
配線接続方法	2		
製品の固定	3		
各種設定	3		

内容物をご確認ください



警告 誤った使用により、事故や人体に危険を及ぼす可能性があります。

- 運転中の製品操作や表示確認は事故の危険があります。
- 運転中のランプ点灯時には視界が悪くなる場合があります。
- 換気の悪い場所での作業は排気ガスの危険があります。
- 配線コードの接続や絶縁が悪いと火災の原因になります。
- 製品固定が不完全だと落下によりアクセル操作などに危険があります。

注意 誤った使用により、車輛部品や製品が故障する場合があります。

- 12V 車以外には使用しない。
- 配線はハンドルやブレーキなどの動く場所に絡まないように固定する。
- 接続部はショートや断線しない配線をする。
- 指定の接続部以外には配線しない。
- 高温の場所には設置しない。
- 作業で外した部品は元の状態に戻す。

特長

パワー限界を知らせる光り 設定回転を光りと音で知らせる予告点灯機能付きシフトランプ

シフトランプ

シフトランプ

薄く小型軽量のランプ部はコラムやダッシュ上からナビ前面などへ両面テープだけで装着可能。

高輝度LED

高輝度LEDにより昼間でも認識性の高い発光。

自動輝度調整

内蔵の光センサーにより周囲の明るさに応じ昼夜2段階の輝度調整機能。

予告点灯機能

設定回転の500rpm手前で予告点灯し、設定回転ではアラーム音と点滅によりスムーズな操作が可能。

設定回転

2000 ~ 9900rpmまで100rpm単位でデジタル表示のワンタッチ設定。

デジタルタコメーター

高精度タコメーター

エンジン回転を0 ~ 9999rpmまで1rpm単位で高精度表示。

ピークホールド

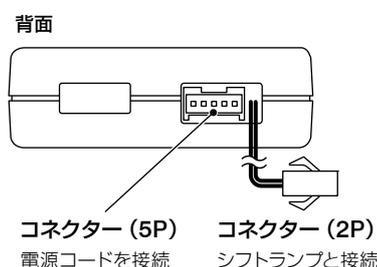
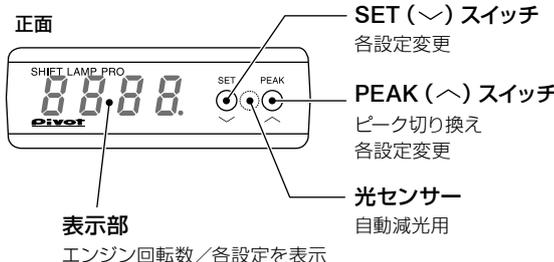
始動後のエンジン回転を1rpm単位で高精度表示。

各部の名称

シフトランプ

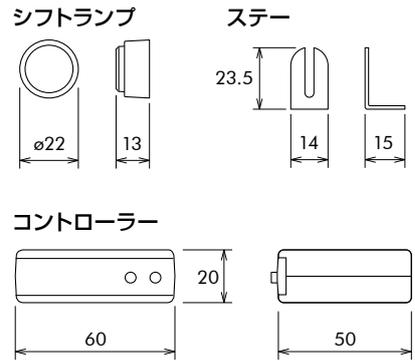
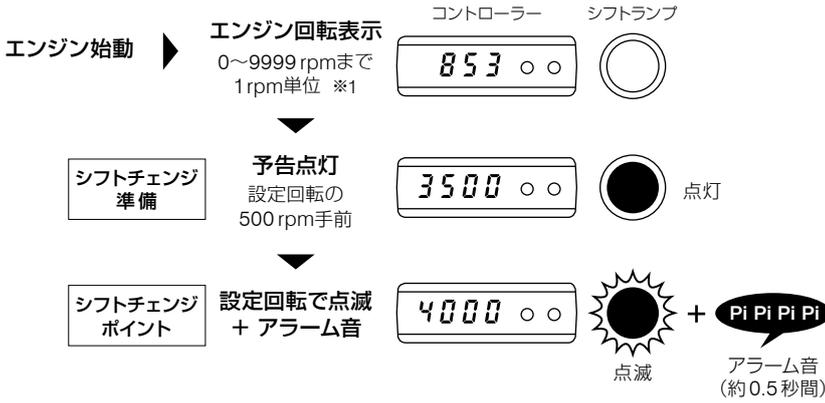


コントローラー



基本動作

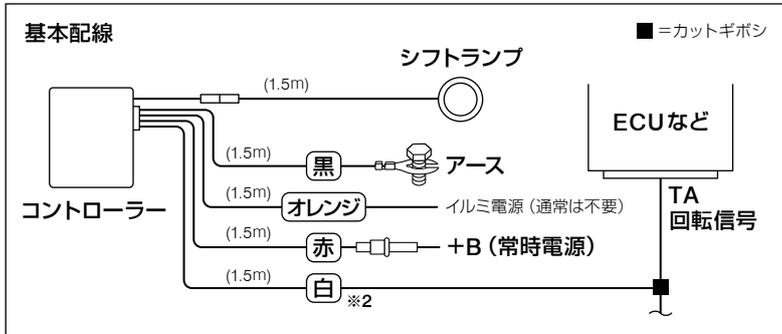
サイズ 単位：mm



※1 アイドリングストップ中はコントローラーの表示が消灯します。

配線接続方法

電源と回転信号の接続



※2 白コードの長さが足りない場合は、付属の延長用白コード (1.5m) で延長してご使用ください。⇒下記「カットギボシの使い方」参照



コード色	接続場所	詳細
黒	GND	アース
赤	+B	常時 12V または キー ON で 12V
白	TA	エンジン回転信号 ※配線一覧表 (回転信号) 参照
オレンジ	イルミ	ランプは周囲の明るさに応じ自動減光するためオレンジは配線不要ですが、スモール連動で減光させる場合は下記配線をしてください。
通常は配線不要		

オレンジ ■ スモールランプ
コントローラーへ | スモール点灯時 12V

※先端の黒チューブをカットし接続。

ECUに回転信号がない、またはECUの回転信号に他製品が接続され正常に動作しない場合は下記へ接続する。

ダイアグノシス (チェックコネクター) へ接続する場合

例: ロードスター (NA6C) の場合

回転信号の位置 (IG \ominus)

上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合

例: 6気筒車で純正タコメーターが 3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因: 取り付けたクルマが独立点火式のため。

イグニッションコイルへ接続する場合

イグニッションコイル

気筒設定数を「1」にします。⇒3ページ

ダイレクトイグニッションコイルの点火信号へ接続する場合

ダイレクトイグニッションコイル

点火信号

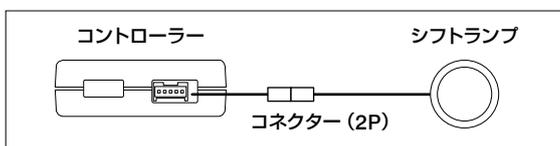
カットギボシ

※気筒数設定を「1」にします。
※点火信号の配線位置は車種によって異なります。

【参考】 カットギボシの 使い方	1	2	3	4	5
	10mm	10mm	芯線を絡める	カットギボシ 芯線が抜けないように 圧着ベンチでかしめる	絶縁テープを3周程度巻き 確実に絶縁する
	クルマ側のコードの被ふくを剥く	製品側のコードの被ふくを剥く			

コントローラーとシフトランプの接続

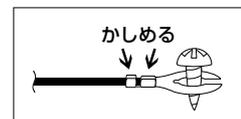
コントローラーとシフトランプのコネクター (2P) を接続。



アース端子の使い方

ネジ部へ黒コードを接続する場合は付属のアース端子を使用する。

黒コードの先端を10mm位むき、図のように2ヶ所かしめアースの取れるネジにはさみ確実に締めこむ。※かしめ部からコードが抜けないことを確認する。

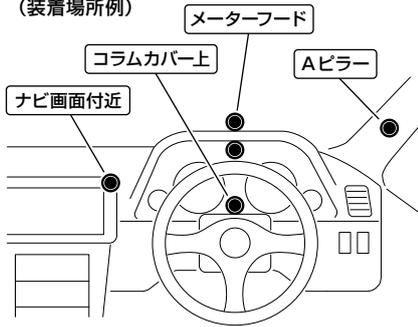


製品の固定

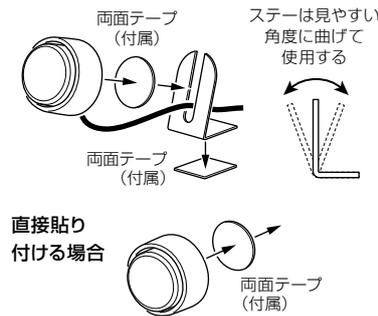
貼り付け部の油分や汚れをキレイにする。

シフトランプの取り付け

(装着場所例)



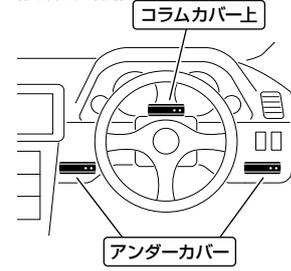
ステーで固定する場合



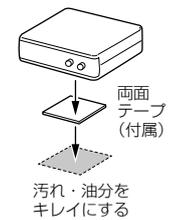
コントローラーの取り付け

操作しやすく表示が見やすい場所に両面テープで固定する。

(装着場所例)



(装着方法)



各種設定

設定 A 気筒数設定

クルマごとの気筒数を設定します。

- ON** キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で SET スイッチを 5 秒長押し
- 例) P-4 気筒数表示**
 (出荷時は 4 気筒に設定されています)
- ダウン** **アップ**
 スイッチを押すこと表示が切り換わります。

気筒数の表示パターン

1気筒	2気筒	3気筒	4気筒	5気筒	6気筒	8気筒	特A
P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-8	P-A

- スイッチを** はなし 5 秒
- 表示消灯**

※1気筒、2気筒設定の場合、必要に応じて信号レベル設定をLoにしてください。
 ⇒ **設定 C 信号レベル設定** をご参照ください。

- 気筒数設定は出荷時に 4 気筒設定されていますが、設定後は前回の設定値を表示します。
- 2 サイクルの場合は気筒数を 2 倍にして設定してください。
 (例: 2 サイクル 3 気筒車の場合は 6 気筒設定)

【参考】

- 1 気筒車: 日産車 (フェアレディ Z Z33)・マツダ車 (アテンザ等)
- 2 気筒車: マツダ車 (RX-8)・スバル車 (プレオ初期型等)
- 4 気筒車: ローターリー車 (RX-7)
- 特 A: 日産マーチ/キューブ等の HR 型エンジン搭載車

設定 B 回転数設定

シフトランプが点滅するエンジン回転数を設定します。
 (設定範囲 = 2000 ~ 9900rpm まで 100rpm 単位)

- エンジン回転表示** **SET スイッチ** 押す
- 例) 3500** 現在の設定を点滅表示
 (例: 3500rpm 設定時)
 設定中にシフトランプは点灯しません。
- ダウン** **アップ**
 スイッチを押し、設定回転数を切り換えます。
- スイッチを** はなし 5 秒
- エンジン回転表示**

スイッチを押すことに設定が 100rpm 下がり、 スイッチを押すことに 100rpm 上がります。
 ※スイッチを押している間は設定が連続して変化します。

設定 C 信号レベル設定

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

日産 (フェアレディ Z Z33)・マツダ (H14 年以降の一部)・三菱 (コルト他)・スバル (プレオ初期型等)
 ※詳細は付属の回転信号配線一覧表をご覧ください。

- ON** キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で PEAK スイッチを 5 秒長押し
- H, または L 表示**
- PEAK スイッチ** 押す
 スイッチを押すこと表示が切り換わります。
 H 一般の場合 ↔ L 小さい場合
- スイッチを** はなし 5 秒
- 表示消灯**

設定 D アラーム設定

シフトランプの点滅時に鳴るアラームを設定します。

- エンジン回転表示** **SET スイッチ** 3 秒長押し
- 例) R.on** 現在の設定を表示
 (例: アラーム設定 ON)
- SET スイッチ** 押す
 スイッチを押すこと表示が切り換わります。
R.on アラーム ON ↔ **R.off** アラーム OFF
- スイッチを** はなし 5 秒
- エンジン回転表示**

● 各種設定時はアラームを OFF にしていても鳴ります。

設定 E 減光設定

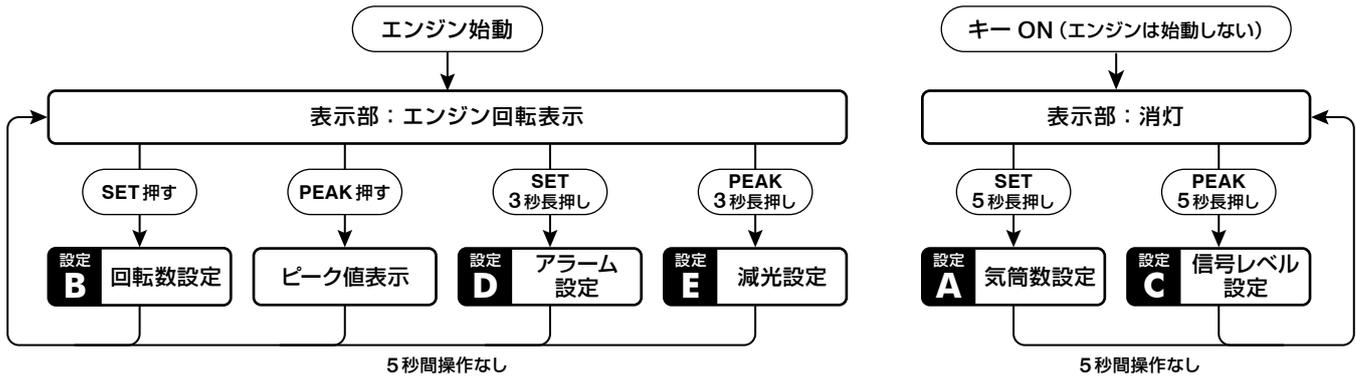
シフトランプの自動減光を設定します。

- エンジン回転表示** **PEAK スイッチ** 3 秒長押し
- 例) 5.on** 現在の設定を表示
 (例: 減光設定 ON)
- SET スイッチ** 押す
 スイッチを押すこと表示が切り換わります。
5.on 減光 ON ↔ **5.off** 減光 OFF
- スイッチを** はなし 5 秒
- エンジン回転表示**

- オレンジコード接続時、スモールランプを ON にしている場合はこの機能が働きません。
- コントローラーに光センサーがありますので、コントローラーを暗い場所へ設置した場合には、減光したままとすることがあります。

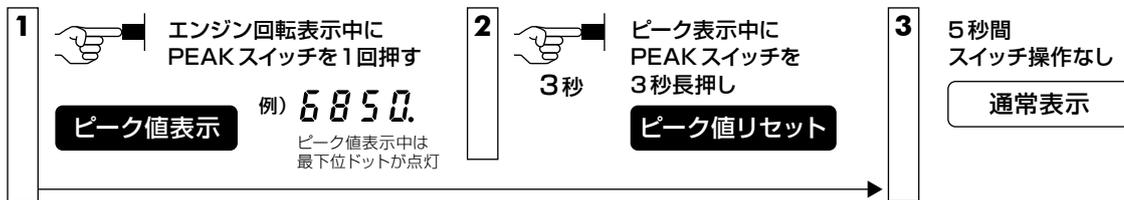
基本操作方法

※各設定に関しては3ページ「各種設定」をご参照ください。



ピーク値の表示とリセット

エンジン始動後のピーク値を表示します。 ※ピーク値はキー OFFでリセットされます。



故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動しても回転数表示しない。	各コードの接続または接触不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあっていない。	3ページ「設定C」、対応車表を再度ご確認ください。
コントローラーの回転数表示が、純正や他メーターと大きく違う。	気筒数設定の誤り。	3ページ「設定A」を再度ご確認ください。 (純正タコメーターとの精度の違いにより、多少の誤差が生じる場合もあります。)
	信号レベルの誤り。	3ページ「設定C」を再度ご確認ください。
シフトランプが点灯しない。	設定した回転数に達していない。	3ページ「設定B」を再度ご確認ください。
	2Pコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
スモールONにしてもシフトランプが減光しない。	オレンジコードの接続または接触不良。	再度ご確認ください。
	オレンジコードの配線間違い。	再度ご確認ください。
シフトランプが減光したままになっている。	コントローラーが暗い場所に取り付けてある。	コントローラーを明るさの変化する場所へ取り付け直してください。
	オレンジコードの配線間違い。	再度ご確認ください。
エンジン停止中にコントローラーの表示が点灯する。	クルマ側のノイズ(ドアロック等)で一時的に動作してしまう。	一時的な動きであれば支障ありませんが、気になる場合は赤コードの接続先を常時電源からIGN(キーONで12V)へ変更してください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーマイナス端子を外したことによる。	バッテリーマイナス端子を戻し、各説明書に従って再設定をしてください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。